



八峰建 第70号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

八峰町長 加藤 和夫



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼ありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

## 中期的な計画の作成に伴う意見の提出について

### 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

意見を聞く事項	意見内容
<p>重点化を進める上で特に優先度の高い政策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p>・ 道路特定財源の堅持が優先度が高く、今後の道路行政を左右するものではないかと考えられます。</p> <p>都市部においては、公共交通機関が発達していますとともに、道路網も整備されていると考えられますが、地方部、特に過疎地域でもあります八峰町においては、公共交通機関といえばバスが1日3往復JRにおいても6往復と地方都市部と過疎町村と結ぶ公共交通は貧弱なものとなっております。当然のことながらマイカーに頼らざるを得ない状況であり、交通網の整備が必要不可欠であります。道路網の整備に充当する資金確保は困難な状況にありますのが過疎町村の共通の悩みであります。</p> <p>過疎と高齢化が進む地方部にこそ道路特定財源が必要と考えられます。社会資本整備としての道路網整備、高齢者への社会福祉政策としての公共交通システムの確立等考えていかなければならないのが過疎地域の大きな課題であり、今後解決しなければならない重要な課題でもあると考えられます。</p> </li> <li> <p>・ 地方の高速道路は、熊等が通るとよく言われますが、高速道路ができて高速道路にアクセスする道路網が整備されないため利用率が上がらないのもその一端にあると考えられます。これは、地方特に町村道であれば過疎町村には、アクセス道路網を整備する財源がないのが格差社会の現実であります。この状況を解決するためには、高速道路へのアクセス道路網は、地方の意見を反映し、国直轄で整備していくことが必要ではないかと考えております。特に三次救急医療施設への人口カバー率の低い過疎町村にこそ必要となる道路政策の一つではないかと考えられます。</p> <p>ちなみに、八峰町における三次救急医療施設への人口カバー率は、90分圏内にも入らない状況でありますことから重要課題の一つであることと考えております。</p> </li> </ul>

意見を聞く事項	意見内容
<p>効率化を徹底的にすすめる上で重視すべきこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率化を進めるということは利用率の向上が必要と考えられます。そのためには、高速料金を安くすることが必要と考えられます。料金水準が欧米諸国に比べて高水準であることが知られていますのでこの料金水準を欧米諸国並みに低水準化することが必要であると考えられます。</li> </ul>
<p>その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路政策 <p>地球温暖化対策については、温室ガスの排出量のうち二酸化炭素が約95パーセントを締めているといわれていますが、京都議定書においては、2011年度で1990年度のマイナス6パーセントを目標値として掲げられていますが、達成はかなり厳しいものと考えられております。</p> <p>高規格道路の整備により自動車の走行速度の向上が図られ、平均走行速度60km/hで1台あたりの排出量が約4割削減されるといわれていますことから、早期の整備が必要と考えられますし、又、渋滞緩和も必要であると考えられます。渋滞は交差点・踏み切りが原因になりますのでこれらの解消を図るために、ロータリー進入経路や立体交差等の整備を併せて実施していく必要があると考えられます。</p> </li> <li>・ 道路整備・管理全般 <p>新規道路整備はなかなか難しいところでありますので、道路のストック計画を策定し、改良や管理について実施していくのが妥当でないかと考えられます。</p> <p>又、過疎町村では財源が厳しいのでストック計画に基づき国の支援を受けられるようなシステム作りが必要と考えております。</p> </li> <li>・ その他 <p>能代琴丘道路の能代東インターが供用開始してもうじき1年になろうとしています。供用開始して以来、このゴールデンウィークの八峰町の町道峰浜中央線の通行車両が昨年と違って多くなっていると感じられます。特に、県外からの観光バスが頻繁に利用するようになってきましたことから、アクセス道としての道路整備が必要と感じられていますし、緊急輸送道路としての位置づけもまた増してきたのではなかろうかと考えています。</p> </li> </ul>